



平成 29 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩崎 哲雄
(東証第一部・コード番号 2796)
問合せ先 専務取締役執行役員 秋山 昌之
(TEL. 03-3362-7130)

平成 29 年 5 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 7 月 13 日に公表しました平成 29 年 5 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 52,000	百万円 810	百万円 640	百万円 100	円 銭 11.07
今回修正予想 (B)	51,500	590	440	110	12.18
増減額 (B-A)	△500	△220	△200	10	
増減率 (%)	△1.0	△27.2	△31.3	10.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 5 月期)	48,511	813	659	382	42.44

2. 修正の理由

当社グループは中期経営計画の基本方針に沿い、セルフメディケーションに関するニーズへの対応や健康保険制度外事業の拡大を目的として、ヒグチ産業株式会社及び株式会社ファミリーマートとの合弁会社である薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社を立ち上げ、ドラッグストア事業（物販事業）へ本格的に参入いたしました。

同事業については、合弁会社設立以前より売上高の低下傾向が続いておりましたので、当社グループでは採算改善の途上にある事業と位置付け、中期的な収益貢献が期待できるよう、店舗の改装や設備の改修を進めるとともに、多店舗の運営管理を安全かつ円滑に行うためのシステム整備や人員のスキルアップ等のインフラ整備を、順次進めて参りました。

この結果、売上高については低下傾向が弱まり下げ止まった感があるものの、ドラッグストア店舗で売上高が想定を下回り、新規出店した店舗においても売上高は計画を下回っております。

また利益面においては、売上高が予算未達だったことに加え、店舗の修繕及び売場整備のために当初の想定を上回る一時的なコストが発生しております。

一方、当社グループ子会社の組織再編により法人税等の減少が見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益については増益となる見通しです。

これらのことを主な要因として前回の業績予想数値から変動することとなりますので、平成29年5月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上